

**北朝鮮による飛翔体発射に関する
日本非核宣言自治体協議会会長コメント**

本日、北朝鮮が飛翔体を発射したとの報道に接しました。

北朝鮮政府は、「人工衛星」であると主張していますが、国連安保理決議に違反することは明白であり、飛翔体通過地域の住民をはじめとして、被爆国の国民に大きな不安を与えたことに対し強く抗議します。

非核宣言自治体協議会では、これまでも、国際社会の制止を無視して核実験を強行した北朝鮮には強く抗議をしてきました。しかしながら、北朝鮮では核兵器の小型化も懸念されていることから、今回の行為は、地域住民の暮らしと安全を守る被爆国の自治体として、決して容認できるものではありません。

北朝鮮政府は、核兵器をすみやかに廃棄して、国際社会の一員として責任のある行動を求めるとともに、日本政府には、北朝鮮に対し毅然とした対応を求めます。

平成21年4月5日

日本非核宣言自治体協議会

長崎市長 田上 富久